社会福祉法人 金津福祉会



第48号

編集・発行人 ふれあいサンホーム編集委員会 http://www.ksunhome.or.ip

金津サンホーム 大規模改修工事が完成!!!





平成26年10月に法人として「中長期事業計画」を策定し、利用者の生活の質の向上を目的に法人施設の改修工事を行っていますが、この度、金津サンホームの大規模改修工事が7月末に完成しました。工事の主な内容としては、

- ① 利用者の居室、廊下等の壁紙、引き戸、照明器具等の取替え工事
- ② 窓ガラスを単板ガラスからペアガラスに取り替える工事 などです。

る介護施設の応援に行ってきまし2日まで、福島県相双地域等におけ 混じり楽しい会話となりました。 帰ってからも同僚との会話に方言が 県の「方言」にふれ、最初は分からな かせていただきました。 笑顔があふれ、私もとても楽しく働 ましたが、 うことで、いつもの業務とは異なる 町に戻れていない状況で、放射能 所から20から30キロメートル 野町にあり、 て頂きました。この経験を生かして いただき、計り知れない経験をさせ い言葉もありましたが、最後には少 部分もあり、 先の施設は特別養護老人ホームとい んでいないと感じました。また、応援 除染作業も含め、 経過した現在でも、 内に位置しています。 これからも頑張っていきたいと思 し「方言」がうつってしまい、福井に その地域は東日本大震災から5 今回は施設の代表として行かせて 東日本大震災に伴う施設派遣』 この度私は、2月16日から3月 援先の施設は、 金津サンホーム みなさんがとても明るく 少しだけ戸惑いもあり 福島県第一原子力発電 なかなか復興が進 ほとんどの人が 福島県双葉郡広 主任 初めて福島 東口 0諒



金津サンホーム

〒909-0633 福井県あわら市花乃杜3丁目22

第48号(4)

利用者の生活の やホール、利用者の居室、廊下な いました。今回の工事では、食堂 ムでは、大規模改修工事を行 昨年の12月から金津サンホ 質の向上のために

事を進めました。 を得て、順次、工区割を決め、エ ため、工事を進めることにしま した。工事期間は利用者の協力 て生活できるような環境を作る 画」のもと、利用者がより安心し 数年が経過し、「中長期事業計 平成4年に開設してから二十

することができました。 審者(警察の方)が侵入したという想定で、職員は 審者対応マニュアル」を作成し、このマニュアルを 止する中、警察官が二人出動し無事、不審者を確保 110番をし、「刺股」やイスなどを使い侵入を防 を実施しました。訓練の流れとしては、玄関から不 もとに、あわら警察署の協力を得て不審者対応訓練 応訓練を行いました。 金津サンホームでは、9月7日(水)に不審者対 相模原市の事件を受けて「不

どを新しくしました。

ので注意するようにと教わりました。 ということ等、御指導をいただきました。しかし、 がある場合は不審者の膝を後ろから押すと倒れる 覚で使用すると良いということや、もう1本「刺股. 体験をすることができました。その後、「刺股」は前 から不審者の脇のあたりを狙い上に押すような感 応も早くよくできていた」とお言葉を貰え、貴重な 「刺股」は不審者に取られて反撃される場合もある 訓練終了後、あわら警察署の担当官から「大変対

参ります。

り充実したサービスを提供して

これからも利用者の方々によ

たいと思います。 予定ですので、さらに良い対応ができるよう、努め し、これからも年2回の不審者対応訓練を実施する この訓練を通して、不審者対応マニュアルを見直







だけるような相談ブースも設け れた方々に気軽に相談していた ました。 祭では、新しく福祉用具展示ブ 示だけでなく、納涼祭に来てく ―スを設置しました。 用具の展 今年の金津サンホームの納涼 納涼祭で福祉用具展示ブースを設けました!

窓口として、「介護保険のこと」 わからない」などのさまざまな 安」や「歩行機や杖の必要性が や「お風呂や買い物、通院が不 スさせて頂きました。 お困りのことについてアドバイ そこでは、地域の方への相談

さり、少しでもお手伝いできた のブースを設けるので是非お気 かなと思います。来年からもこ 軽にお越しください! 納涼祭でも2人の方が来て下

編集後記

冬もみんなで元気いっぱい過ごしていきたいと思 てきました。体調管理に気をつけ、 秋も近づくにつれ、だんだん肌寒い日が多くなっ これからの寒い



あわらサンホーム 〒919-0633 福井県あわら市花乃杜3丁目22-32 Tel:0776-73-0488/Fax:0776-73-5088

第48号(3)

『手を動かすことによって~







編み物教室

あわらサンホームでは、9月12日(月)に編み物教室を行いました。編み物教室の先生が 来てくださり、タオルに針でお花を縫い付け、オリジナルの世界で1つしかないタオルを作 りました。お花の縫う位置を考える利用者の皆さんはとても楽しそうでした。針でお花を縫 いつける作業はとても難しく利用者の皆さんは苦戦していましたが、編み物教室の先生に熱 心に自ら質問し、アドバイスを貰い優しく教えてもらったおかげできれいに作りあげること ができました。このような教室を行い、手を動かすことで日常生活から手や足のリハビリを 行なっています。



9月は月見の季節ということで、使わな いダンボールやペットボトルのキャップを 再利用し、月の作品を作りました。初めは 何を作っているのか分からなかった利用者 の皆さんも、だんだん出来上がる様子を見 てとても喜んでいました。

作品は自宅の方に持ち帰り、保護者の皆 さんにもご好評いただき、十五夜のときに 飾りました。





利用者の方々は完成した作品を飾ってみでを作ってもらいました。 た。今は来年に向けいるときとは違い、利用者の方々は完を作ってもらいまし 皆さん全員で協力して紫陽花の作 P感動していま-ってみると作って

今は来年に向けて酉年の作品を考えています。

48号(2)

パン作り体験







越前たけふサンホームでは、ラポーゼかわだにてパン作り体験をしてきました。 初めて自分たちでパンを作り、最初はなれない様子でしたが、パンの生地にあんこ などを入れてクマなどの動物の形にし、とても楽しそうに生地をこねていました。 焼きあがったパンを見て、すぐ食べる方や家に帰宅してから孫にあげるとおっし ゃる方もいて、とても満足してパンを持ち帰りました。

七夕会



た!!! すいか割

願い事叶 いますよ うに…



今年の七夕会では、すいか割りを しました。初めは何回叩いてもすい かが割れなくて大変でしたが、みん なでかけ声を合わせ、協力するとや っと割ることができました。割った すいかも美味しくいただきました。

啓発運動

利用者の方々と一緒に熱中症に対する勉強会を行いました。改めて熱中症は怖いものだと実感し、水分補給などをしっかり行い、予防しようという気持ちが芽生えました。この夏、勉強したこと活かして熱中症対策できたと思います。

水分補給 しっかり すること



